

欧州馬術レポート

週刊 Gallop 2021 年 7 月号掲載



日本中央競馬会所属

◆佐々紫苑

(さっさ・しおん)

1995年東京都生まれ。早稲田大学卒。2012年全日本ジュニアライダー総合馬術選手権優勝。15、16年全日本ヤングライダー総合馬術選手権連覇。20年4月にJRA日本中央競馬会入会。17年より日本馬術連盟アンバサダーライダー。

馬心伝心 —奮闘記part II—

佐々紫苑

Shion Sassa



1年遅れで東京2020大会が開催され、世界中からトップクラスの人馬が、馬事公苑（世田谷）に集まっています。本来であれば、この夢のオールスターメンバーが勢ぞろいしての演技や競技を、直接見ていただきたかったのですが、残念ながら無観客となってしまいました。でもご安心ください。いつもは競馬中継をしているグリーンチャンネルで、予選はダイジェスト、決勝は全てライブで観戦することができます。

夏の夜、金メダルを手にするのはどの国、誰なのか、わくわくしながらごらんください。

また、JRAはこの機会にたくさんの皆さんに馬術競技の魅力を知っていただけるよう、TVCM「世界の馬術がやってくる。」を放映しています。さらには、コロナ対策を施しながら、全国6カ所で馬術イベントも行っています。専用グラスを装着し、まるで騎乗しているかのように揺れる椅子の上で、颯爽と走る馬に跨るライダーの目線で総合馬術クロスカントリーの4DX映像を楽しむVR体験。さらにインスタ映えすると話題の人気フォトスポットや小さなお子さまにはオリジナル絵本のプレゼントなどもあります。「馬に乗れたらカッコいいよね」、「楽しそう!」とオリンピックを見た日本の子どもたちの中に、未来の世界チャンピオンがいるかもしれない。そんな想像をしながら、「もっと馬術のことを話したい」と思う2021年の夏です。



腰を少し浮かせるとよりリアルな写真が撮れます（本人提供）

Let's enjoy Dressage

高田茉莉亜

Maria Takada



アイリッシュアラン乗馬学校所属

◆高田茉莉亜

(たかだ・まりあ)

1994年東京都生まれ。慶應義塾大学卒。2010、11年に全日本ジュニアライダー馬場馬術選手権連覇。16年の全日本ヤングライダー馬場馬術選手権で史上初の4連覇を達成した。17年より日本馬術連盟アンバサダーライダー。

東京オリンピックがついに開幕！1年間の延期となった東京オリンピックが幕を開けたばかりですが、その約3週間前、欧米を拠点としている馬術競技に出場する多くの競技馬がドイツのアーヘンにある馬術競技場に集められ、日本入国に向けた約1週間の検疫を行いました。検疫は、健康管理、隔離、消毒など徹底した管理のもとで行われ、日本に病気を持ち込まないよう選手や関係者も細心の注意を払いながら馬のケアをしていました。

東京オリンピックでは普段ヨーロッパで与えている乾草ではなく、日本で用意できる乾草を与える必要があるため、アーヘンで乾草のサンプルが配られました。エサの急激な変化は痙攣などのリスクが高まることから検疫期間から少しずつ混ぜていくことでそのリスクを軽減させる工夫がされていました。また、その他のエサも日本で用意できるものは限られているので、ほぼすべてのエサが飛行機で会場に運ばれています。

トレーニングのみならず、エサの調達や飛行機輸送での体調管理など、さまざまな準備を経て大舞台に臨んでいる選手と馬たちの雄姿をぜひごらんください！



④ヨーロッパで与えている乾草⑤日本でも与える乾草⑥エサは国ごとにまとめてパレットに載せて運びます（写真は全て本人提供）

